

# 天体観測



## 星の美しさを知る

▲第2本館屋上で天体観測は行われた。

天体観測の始めに生徒は理科の北川明照先生の解説を聞きながら、夕焼け空のなかに一番星のベガを探した。その後、日が暮れるとともにたくさん星が見られるようになり、夏の三大角やカシオペア座などの星座を観測した。北川先生はこの時期に夏の三大角が見られることに疑問を持つ

本校で当初使われていた天体望遠鏡は昭和8年に製造され、日本最古とも言われている。その望遠鏡は香川県天体望遠鏡博物館に寄贈されており、現在本校にある天体望遠鏡はかわりにその博物館から寄贈されたものである。

昨年12月15日に本校の天文ドームで天体観測が行われた。14日に予定されていた天体観測は悪天候のため中止となった。天体観測には本校生徒の約40人が参加し、肉眼だけでなく天体望遠鏡を使って星を観測した。



速報新聞

# キマグレ

発行所  
彦根高等学校

## 新聞部

彦根市金亀町4番7号

た生徒に対して「夏の三大角は天頂付近を通り、星が出てから沈むまでに長い距離を移動するため、夏に比べて3時間ほど早くから見ることができ」と解説された。

北川先生は天体観測の開催について「冬至の近くの日ではないと下校時刻までに星を見られるほど空が暗くならない。そのため毎年この時期に行っている」と説明された。また生徒の様子について「初めて天体観測をする人が多く、天体望遠鏡で星を間近で見られてよかったのではないかと思う」と話され、今年の天体観測の様子を「例年は惑星を見ることができたが、今年は条件が良くないので見られなかった。ふたご座流星群は見られしたが、土星の輪を見せたかったので惑星を見られなかった



▶屋上からはたくさんの星や星座を見ることができた。

のが残念」と振り返られた。北川先生は星座の魅力について「一つひとつの星に明るさや色、星座の形があつて美しく見ると同時に、古代に星座を決めた人の思いが蘇ってくるのが魅力的で大好き。ピンク色に輝く白鳥座のアルピデオがとてもきれい」と微笑まれた。

参加した生徒からは「大きな望遠鏡で星を見られたのは貴重な経験だった」「普段星をじっくり見ることがなかったので良い経験になった」「屋上に入れる機会はあまりないので楽しかった。星も見られてよかった」「解説が面白かった。機会があればまた参加したい」などといった声があがった。



▲天体望遠鏡を使ってベガを観測した。